

平成 30 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修報告

共通機器部門・情報基盤機器管理班 開内 幸治

1. はじめに（目的等）

今回参加した平成 30 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修は業務を遂行する上で必要な基本的、一般的知識及び新たな専門知識、技術等を習得させ、技術職員としての資質向上を目的としている。一般的知識や業務に関連する知識の習得のため参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 30 年 8 月 29 日～31 日

場所：岡山大学津島キャンパス

3. 参加者等

大学、高等専門学校、研究機関等に所属する技術職員 48 名

4. 研修内容

1 日目と 3 日目に全体講義：肺移植で助かる命、「100 年に一度の雨」とは？、体内時計：生物が時間を知る仕組み、感染症研究国際展開戦略プログラムに関して、科研費等外部資金の申請についての 5 件を全員で聴講し、2 日目は分野別講義・実習として 5 つのコースのうち情報系分野「マインドストームを用いた人工知能プログラミング」を受講した。

5. まとめと感想

全体発表では専門分野外の内容であったが興味深く聴講した。特に肺移植で助かる命では通常利用できないとされる肺を工夫することで肺移植可能となった事例はすばらしく創意工夫で業務にあたる姿勢が重要だと感じた。分野別実習では Lego マインドストーム EV3 を使用してロボットの制御プログラミングを行った。プログラミングに使用した SmallBasic は初めて扱ったがコマンドの補完機能などがあり、プログラミング経験があればそれほど迷わずコードが書けた。実際のロボット制御においてはパラメータ設定が重要である。制御プログラミングの経験があまり無かったのでトライアンドエラーで問題解決を行った。今後の技術職員は幅広い業務内容に対応する必要が増えてくるので、まずは自分が興味を持った専門分野の周辺の知識を増やしていきたいと感じた。